

(第 1 面)

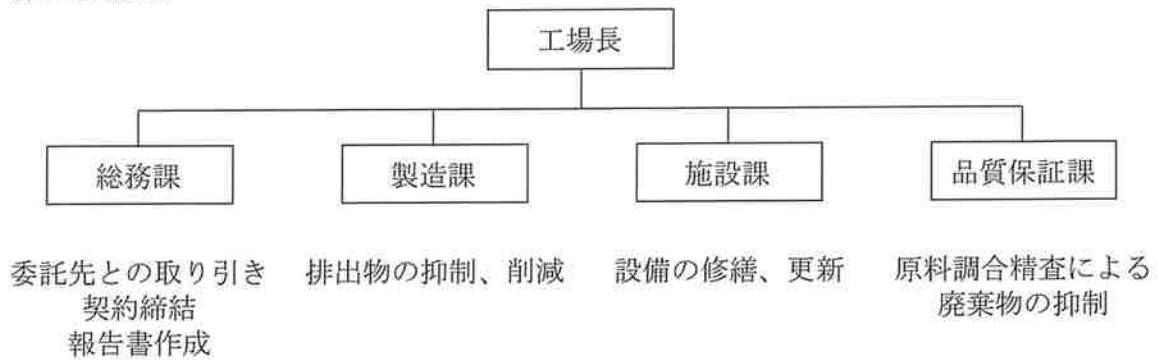
産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 26 日	
茨城県知事	殿
提出者	
住 所 茨城県神栖市東和田 25 番地	
氏 名 旭トステム外装 株式会社 鹿島工場	
工場長 丹伊田 克幸	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0299-96-7089	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭トステム外装 株式会社 鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田 25 番地
計画期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業（窯業製品製造業）
②事業の規模	製造品生産高 4,292 百万円
③従業員数	50 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

(日本工業規格 A 列 4 番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙②のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙②のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙③のとおり AGC（株）鹿島工場と同構内のため、AGC（株）鹿島工場の分別基準に則る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に従う。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】—		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物の一連の処理の工程

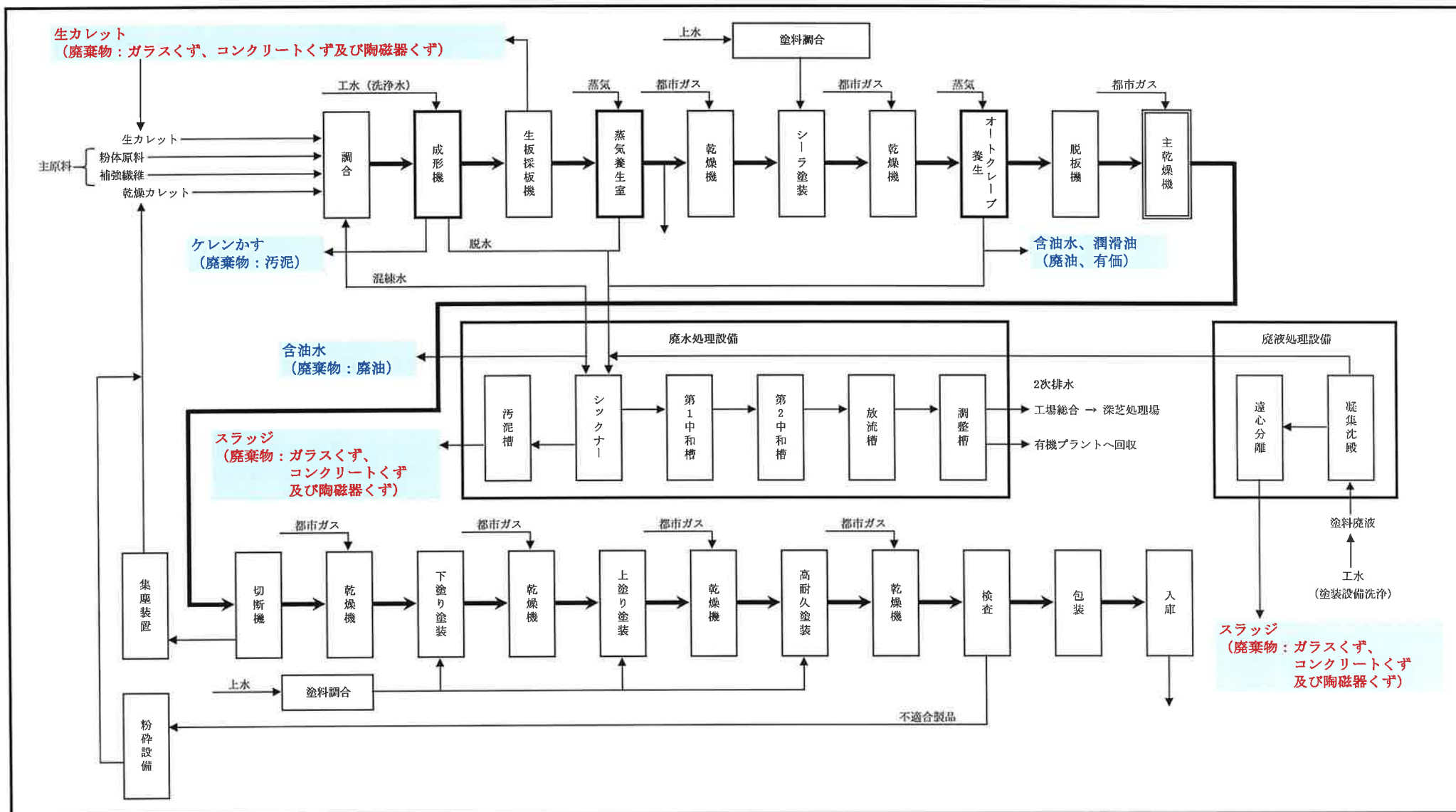
別紙①

廃棄物の排出箇所

※成形機での製法の違い HSM 1成形機：脱水プレス成形法、HSM 2成形：連続単層成形法

→ 原材料の流れ

→ ユーティリティの流れ



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(单位: t)

①現状	【前年度（2023年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	廃プラスチック類	廃油	(特別管理) 廃油	金属くず	水銀使用製品
	排 出 量	5337 t	931 t	21 t	5 t	0.5 t	0.06 t	0.13 t
	(これまでに実施した取組) ・MPKライン：場外廃棄時間管理、設備修繕による排出抑制（ポンプ管理） ・HSMライン：調合変更時の外部排出抑制（パルプ残し・ロール品週末生産） ・HSM設備トラブル抑制（日々保全実施、突発トラブルにて）							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	廃プラスチック類	廃油	(特別管理) 廃油	金属くず	水銀使用製品
	排 出 量	5284 t	931 t	21 t	5 t	0.5 t	0.06 t	0.13 t
	(今後実施する予定の取組) ・HSMライン：調合変更時の外部排出抑制継続 ・HSM平プレス下定盤更新に伴う板厚不良廃棄板抑制 ・HSMライン：設備トラブル抑制							



## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(単位: t)

①現状	【前年度（2023年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	廃プラスチック類	廃油	(特別管理)廃油	金属くず	水銀使用製品
	全処理委託量	5337	931	21	5	0.5	0.06	0.13
	優良認定処理業者への処理委託量	1894	71	4	5	0.4	0.06	0.13
	再生利用業者への処理委託量	5337	931	21	5	0.5	0.06	0.13
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	5	0	0	0
	(これまでに実施した取組) 委託先閉鎖や受入れ停止による新規委託先の契約時に、優良認定許可取得業者へ委託した。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	廃プラスチック類	廃油	(特別管理)廃油	金属くず	水銀使用製品
	全処理委託量	5284	931	21	5	0.5	0.06	0.13
	優良認定処理業者への処理委託量	1875	71	4	5	0.5	0.06	0
	再生利用業者への処理委託量	5284	931	21	5	0.5	0.06	0.13
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	5	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 新規処分委託先検討は、優良認定許可取得業者へ委託するよう推奨する。							

## AGC鹿島工場 場内廃棄物 分別基準

## &lt;注意事項&gt;

- (1) 分別方法 下記の分別ルールを遵守して下さい。分からない場合は、各課のEMS担当にまずはお問い合わせ下さい(場内工事業者の方は施設部・設備技術課へ)。それでも不明な場合は、調達G(5248)又は資材倉庫(5252)に問い合わせして下さい。
- (2) 袋詰め方法 指定ポリ袋は、(1)透明、(2)サイズは65cm×80cm以下、(3)容量は45 L以下を使って下さい。
- (3) フロン含有品 スポットクーラーや冷水機等フロンを使用している機器は別処理になります。 都度、調達G(5248)に問い合わせして下さい。
- (4) 家電4品目 排出時は、資材倉庫(5252)に連絡下さい。家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機の業務用以外)も別処理になります。 別シート「家電4品目」のルールに従って下さい。
- (5) アスベスト アスベスト不含有証明が付かない外壁・スレート類、パッキン類は、含有とみなします。 排出時は、資材倉庫(5252)に連絡下さい。
- (6) 空容器の廃棄 ポリ缶・石油缶・ガラス瓶等の空容器の廃棄は、必ず、使い切ったの空ではなく、洗浄して空にしてから行って下さい。(回収者や中間処分業者は空として取り扱うため。 残物による液液・腐蝕等を絶対に起こさないため)

## &lt;品目リスト一覧表&gt;

分類	排出荷姿	品 名	注 意	分類	排出荷姿	品 名	注 意
1 可燃物	専用例 神栖市指定 事業用ごみ袋 可燃用	生活ごみ、食品ごみ、雑草 など。 塩ビは厳禁。 生活ごみ 食品ごみ 雑草	タバコの吸い殻(袋を2-3重にする)、ボールペン 菓子・冷凍食品の袋、レトルトパック類 1袋5kg以内。	11 ケーブル	専用コンテナ そのまま廃棄	被覆してあるケーブル 銅線も可	バラバラにならないように結束する。
2 廃プラ	専用例  指定ポリ袋	30cm幅以内で、塩ビ・ハロゲン系を含まないもの。 ×食品ごみ 工場常用保護具 キングファイル ビニールシート 発泡スチロール・ウレタン プラスチック容器(食品用) 硝子スプーサー ロープ	コンビニ弁当パック等は材質はプラでも可燃物。 安全靴(金属製)、ヘルメット、作業服(含・防寒着、雨合羽類)、軍手 ファイルの中身及び金属は外す。 外せない場合、調達Gに相談。 小さく畳む。 薬品等は水洗いをしフタは開ける。 30cm以下に切断し、袋に入れる。 ほどけないように結束する。	12 鉄さび	専用コンテナ	鉄錆	腐プラ、可燃物、汚泥の混入厳禁 雑草もしくは土壌袋に入れる。
3 リサイクル廃プラ	専用コンテナ	P P ・ P E フレコン(塩ビ)	中身(内袋・内容物)を取り、1袋づつ小さく丸めて4つ折りにする。	13 蛍光灯	専用ドラム そのまま廃棄	蛍光灯 電球 水銀灯	屋内保管に要更。 詳細は右をクリック。 溜まったら資材倉庫に連絡願います
4 P P バンド	専用例 ポリ袋入り	P P バンド	指定ポリ袋に入れる。 * P P バンド以外のゴミの混入禁止(金具は取り外す)	14 乾電池	専用ドラム	乾電池・その他電池	絶縁のためのテープを電極に貼り、ポリ袋に入れる。
5 ストレッチフィルム	専用例 ポリ袋入り	ストレッチフィルム	指定ポリ袋に入れる。	15 コンクリート屑 (鉄骨有)	専用コンテナ	鉄骨付コンクリート	アスベスト含有品は厳禁 (不含有証明ができないものは、含有とする)  *アスベスト含有品は、資材倉庫に連絡をして下さい
6 塩ビ・大型廃プラ	専用コンテナ 最大巾目安 (8m3コンテナ に入ること)	2. 廃プラ以外(30cm幅以上の廃プラ)と、塩ビ・ハロゲン系廃プラ 塩ビ製品 ジャバラ管 ホース類 タイヤ イス 安全靴・吸収缶など	中にワイヤーの入ったもの含む。 プラスチック・ビニール製のもの。 ホイールは取り除く。 オフィスイスのみ、折り畳みパイプイスは鉄屑。 金属と廃プラの複合物で分解できない場合	16 コンクリート屑 (鉄骨無)、 アスファルト、 ブロック	専用コンテナ	コンクリート アスファルト ブロック	
7 保温材・断熱材	専用コンテナ	ケイ酸カルシウム(ケイカル)、パーライト、グラスウール・ロックウール・シリカ系保温材 ケイ酸カルシウム (ケイカル)、パーライト グラスウール ロックウール シリカ系保温材	(注意事項) 別紙【断熱材】参照	17 石膏ボード	専用コンテナ	石膏ボード	
8 ガラス瓶	専用コンテナ ポリ袋	ビン類容器、試験管。 窓ガラス(含む糊入り、中間膜入り、ミラーなど含む)は混入禁止 ビン容器類 コーヒー瓶 *ドリンク類は、工場内持込厳禁。	薬品類は危険なので、内部を必ず洗浄する事 蓋を必ず外して排出	18 外壁・磁石	専用コンテナ	ALC板 セメントボード 磁石 ダイヤ磁石	
9 その他ガラス屑	専用鉄箱 そのまま廃棄	窓ガラス、ガラス製デスクマット、ガラスケース、瓶以外のガラス製品 窓ガラス(含むサッシ付き) 糊入り、中間膜入り 化粧鏡(ミラー) *カレット屑は、ガラス部専用		19 陶磁器類	専用コンテナ	食器、マグカップ、タイル、陶磁器製品	
10 鉄屑	専用研 2m以下	金属物もしくは金属主体のもの。 内容物が残っているものは捨てないこと！ アルミ類・ステンレス類 スプレー缶 電線屑、延長コード ペンキ缶、シンナー缶 カッター刃 スチール棚 自転車 イス 銅線 *大量に発生する場合は、調達Gに要連絡。 *油が付いているものはウエス等で拭き取る。	必ず、穴をあけること！ 結束する。 ペンキ等を空にし、キャップもしくはガムテープで養生する。 蓋付きの容器に入れ、内容物・排出課を明記する。  折り畳みパイプイスのみ。 オフィスイスは塩ビ・大型廃プラ。 バラバラにならないように結束する。  *大量に発生する場合は、調達Gに要連絡。 *油が付いているものはウエス等で拭き取る。	20 サンダーの刃	専用ドラム	サンダーの替え刃	ポリ袋に入れてまとめるか、そのまま廃棄
				21 バッテリー	専用BOX	バッテリー	専用BOXに入れる
				22 家電4品目	専用研	リサイクル家電 (冷蔵庫、エアコン、洗濯機、テレビの4品目) *廃棄の際は各課、ヤマダ電機に依頼のこと。	
				23 電気機器	専用コンテナ そのまま廃棄	モニター等PC製品 電気計器、電子基盤	家電4品目以外の電気製品
				24 紙		*8種類に分類 袋口を除く火・金曜日の朝、ステーション前に置いてください。 ①雑誌・コピー用紙 ②新聞紙 ③ダンボール  ④コンピューター用紙 ⑤封筒 ⑥シュレッダー屑 ⑦紙管 ⑧その他、特定紙 *雨漏れ及び飛散しないように配慮すること	雑誌、カラーコピー、ノート、カタログ等 折り畳むか紐で結束する事 紐で十文字に結束するかダンボール箱に入れること ラミネート、ろうづけ・筒状・光沢のあるモノは不可 大量の場合は紐で縛ってOKも、4枚以下は縛らないで排出 ストックフォームなど 透明ビニールに入れて回収 OHP(廃プラ)の混入厳禁!! 煙突下置場へ持ち込み 朝子部の仙花紙、ATP紙など
				(リサイクル 不可のもの)	指定ポリ袋 (45L以下)	可燃物として処理	重要・機密文書、感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、紙バック、 プラスチック付き封筒、ラミネート付き封筒等
				26 木屑	専用木箱	廃木材・ベニヤ・木箱 ※磁石に付かないもの(ステン釘等)を使ってる木屑は別処理のため、調達Gへ連絡 ※また、金具(金属の治具)が付いている木屑も別処理のため、調達Gへ連絡 ※腐木、炭木、生木、竹ぼうきは袋に入れて可燃物へ廃棄	原則は共通廃棄場へ直接持ち込み。 原則は共通廃棄場へ直接持ち込み。
				27 廃油	共通置き場なし ドラム 一斗缶 ドラム	潤滑油・廃油等 灯油等 廃塗料 廃ウエス	ドラムに入れ、資材倉庫(内線:5253)に引取り依頼。 プラントから出た廃油は個別に調達Gに相談。
				28 樹脂バレット	専用研	樹脂バレット	